

新入生合宿研修を終えて

顎顔面機能学分野 助手 山村 健介

4月12、13日の2日間、満開の桜の中、恒例の新入生合宿研修が新潟大学歯学部大会議室とウェルサンピア新潟の2会場で開催されました。

開催者側からは山田学部長、前田副学部長、宮崎附属病院長、高木教授(学務委員長)、興地教授(臨床実習専門委員)、織田教授、小野助教授、斎藤(功)、大島(邦)両講師、井上(佳)助手、私(以上学生支援専門委員)、富沢助教授(セクハラ相談員)、星野学務係長の13名が参加し、学生アシスタントとして2年生の山本君、赤石君、又吉さん、坂上さんの4名、そして新入生および3年次編入生合わせて55名と総勢72名の参加となりました。

1章 合宿の表舞台(報告書)

午前9時に歯学部大会議室に集合。全体ガイダンスに引き続き、新入生各7-8名プラス教官1名からなる7班に分かれました。最初に、自己PRを兼ねた名札を作り、新入生同士のペアで会話をした後、相手のことを他の班員に紹介(他己紹介)しました。続いて、面接入試「異論・反論・オブジェクション」と題した自己啓発セミナー1が行われました。まず、班内であげられた面接試験の問題点をその性質に基づいて小グループ(島)にまとめ、各島の相互関係が明らかになるよう空間的に配置した図を作成し(K-J法という少人数の意見をまとめる方法です)、問題点をその重要度と緊急度に応じて二次元的に配置した図を作成しました。その後、各班で作成した2つの図を基に班の代表者が面接試験の問題点は何か? それをどのように改善すべきかについて発表しました。

自己啓発セミナー1のあとは全員で昼食、その後バスでウェルサンピア新潟に移動。部屋割りの後、5時30分まで、自己啓発セミナー2「歯学生、万代太郎」が行われました。ある歯学生「万代太郎君」の歯学部入学から卒業までの6年間で3つ

のパートに分けたシナリオを基に、彼の生活や歯科医師に対する考え方の変遷についてK-J法を用いて問題点を抽出し、自分たちがこれからの学生生活をいかに過ごすべきかについて討論し、その結果を班ごとに発表しました。午前中のセミナーではややとまどいを見せていた新入生でしたが、午後のセミナーでは活発な討論が展開されました。他の新入生の歯科医師に対する考え方やこれから歯学部で何を学ぶのかを知る上で、新入生にはよい機会であったと思います。

入浴・自由時間の後、大広間にて夕食となりました。このときのために集合した上級生によるクラブ紹介&勧誘が場を盛り上げました。その後教官の部屋に場を移し、深夜まで学生と教官の懇談会が続きました。

翌日は6:30に起床、朝食、履修相談の後、新入生は体育館で班対抗のバレーボール大会を行いました。合宿前は「赤の他人」であった新入生の集団が、合宿終了時にはこれからともに歯学を学ぶ「同級生」になりつつあったのが印象的でした。

2章 合宿の舞台裏(少しだけフィクション)

歯学部を卒業して十ウン年、いつからか学部主催、新入生全員参加になった「合宿」に久しぶりに参加することになりました。役割は8名の学生からなる班のファシリテーター(文字通り盛り上げ役)でした。昔の合宿とまず異なったのは「教官もカジュアルな服装で参加」ということです。合宿当日には「普段見ることのない格好」をした先生がずらり…。私が新入生として合宿に参加した時にはスーツに身を包んだこわもての先生が多く、とても気軽に話しかける雰囲気ではありませんでしたが、あのころとは雰囲気は違います。もしかしたら私が歳をとったからそう感じるだけかもしれませんが、さて、自己啓発セミナーが始まりました。私の役割はファシリテーターです。と

りあえず「さわやか路線でアットホームな班」をめざすことにしましたが、新米ファシリテーターとしてはどうしても他班のファシリテーターの動向が気になります。早くも名札作成で各ファシリテーターの個性が炸裂します。「さわやか路線」の他にも持ち前の温かい雰囲気場で場をなごませる先生あり、バレバレの年齢詐称？ でいきなり班を盛り上げる先生あり、様々です。各ファシリテーターの努力の甲斐あって、新入生たちも各自の個性を発揮しつつセミナーは無事終了。新入生同士が共同作業を行うことで他の学生を知るとともにお互いの親睦を深める…という大きな目的は達せられたようです。

新入生が入浴・自由時間を楽しむ中、教官は、エネルギー（エタノール）補給です。ここで、普段おらかさが売り物の某教授（複数）の意外なほどの準備のよさと細かい気配りに驚かされます。部屋の冷蔵庫の中にはエネルギー（教官および成人学生向け）とただの水分（未成年学生向け）がびっしり。一体いつの間に準備したのか…。今夜の懇談会はまさにスタンバイOKです。一方、某教授（実は学部長）は「事故だけはあってはならん」と教授会での噂とはうらはらなコンサバぶりを見せています。そして夕食。上級生が乱入？ し、クラブ対抗の新入部員争奪合戦が繰り広げられました。昔と違うのは、この時のために周到な

準備をしてきたと思われるクラブが多いことで、「ひとに何かを伝える能力」を重視した最近の学生教育の効果？ が垣間見られました。今年はプロジェクトターを持参して映画風にまとめたスキー部が面白かったかな。

その後、長い夜（教官と新入生の懇談会）の始まります。新入生が入学直後に「教授の素顔」を見、いろいろな会話を楽しむことができるのはすばらしいことだと思いました。学生に個性があるように、先生にも個性があります。学問的思考その他について相性の良い教官に早い段階で出会うことができれば、長い学生生活がより楽しく有意義なものになるでしょう。今年は、ほとんどの新入生が懇談会に参加し、教官の部屋1つでは足りず、2部屋に分かれて「部屋移動自由」の懇談会が深夜まで行われました。私にとっても新入生や普段あまり話す機会のない他講座の先生と話すことができた楽しい時間でした。

翌日はやや疲労の色が隠せない教官に対し、まだ体力に余裕がある様子の学生には、バレーボールで残りの体力を使ってもらいました。その間教官は今回の合宿の反省会（つまり休息）を行い、無事合宿終了となりました。新入生の皆さん、これから忙しい学生生活が始まりますが、今の気持ちを大切にがんばってください。

